

十五夜と十三夜 お月見をしよう！

9月30日は十五夜＝中秋の名月。中秋の名月は満月とは限らないのですが、今年は何年ぶりの満月です。ぜひお月見をしてみましょう。10月27日の十三夜のお月見も忘れずに。片方だけ見ると縁起が悪いそうですよ！？

十五夜と十三夜

中秋の名月とは旧暦八月十五日の月のこと。だから「十五夜」って言うんですね。旧暦は月の形と日付が一致していましたから、八月十五日は毎年、ほぼまん丸の月が見られます。旧暦では七月～九月が秋。八月は別名・仲秋と呼ばれます（七月は孟秋、九月は季秋です）。十五日は仲秋のちょうど真ん中で、秋全体の真ん中でもあるので中秋とも言います。その日の満月が美しいということで、中秋の名月にお月見をする風習ができあがったと考えられています。

中秋の名月にお月見をする風習は中国から伝わったと言われていますが、十三夜（旧暦九月十三日）にもお月見をするのは日本独自です。片方だけお月見をすることは「片見月」といって縁起が悪いこととされていました。また、中秋の名月が彼岸の期間中に当たった場合はお月見をしない、という地方もあるそうです。



中秋の名月
このときは満月の一日前でした

お月見を楽しもう

お月見のときにはススキや月見団子などさまざまなものをお供えする風習があります。お供え物は地域や家庭によって違い、平塚では団子などに加えて豆腐を供える家が多いそうです。ススキに加えて萩の花を供える地方もあります。ぜひ、それぞれの家や地方に伝わる方法で、お月見を楽しんでみませんか？



平塚でのお月見のお供えの例



平塚では月見団子を子どもたちが盗む団子盗りが行われていました

十五夜と十三夜には「星を見る会」を開催します。どちらも申込不要、自由参加です。

☆星を見る会「中秋の名月を見よう」
9月30日（日） 19時～20時30分

☆星を見る会「後（のち）の月を見よう」
10月27日（土） 19時～20時30分

★一週間前から当日まで、平塚のお月見のお供え物を1階相模の家に展示します。